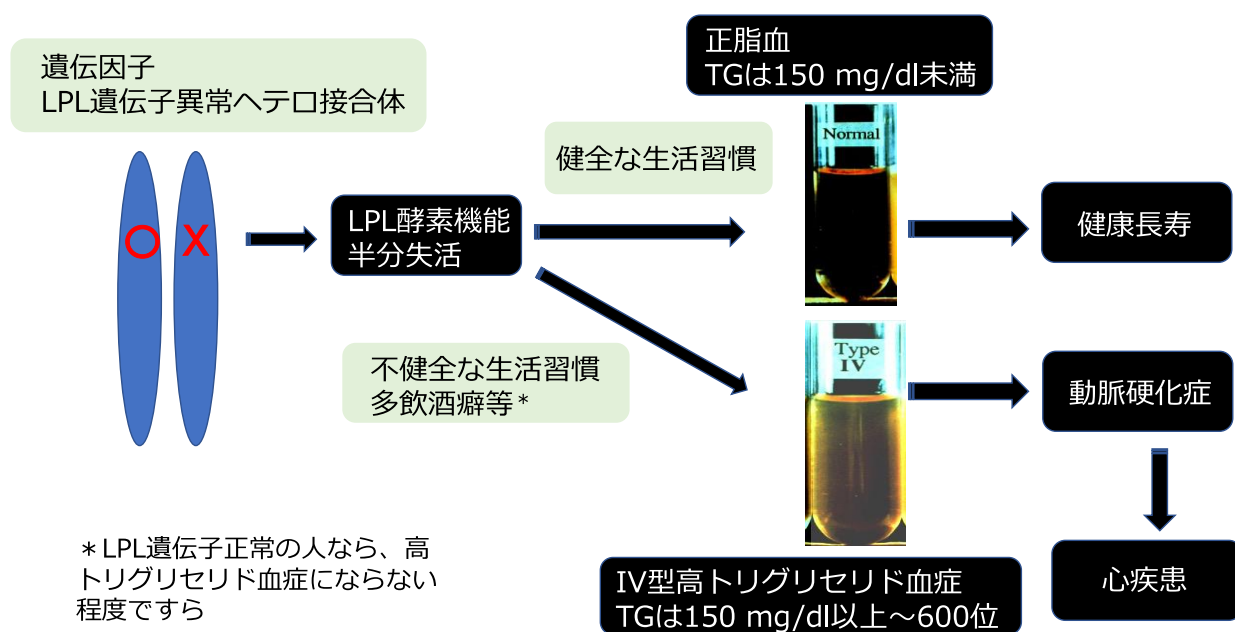


遺伝と環境 ～心疾患の危険因子である高脂血症を例として～

「遺伝か環境か」は古くからの問いです。遺伝子解析技術の進展により、遺伝子変異と病気との関係が明らかになってきました。本講演では心疾患の危険因子の一つである高脂血症（とくに血中の中性脂肪（トリグリセリド：TG）が高くなる高TG血症）を例として、遺伝と環境の視点から考え、健康維持へのヒントを探ります。

リポタンパク質リパーゼ(LPL)遺伝子異常ヘテロ接合体 と高トリグリセリド血症の関係



日時：令和7年11月8日（土）13：30 ～ 15：30

講師：高木敦子（S54 理生動）

（元国立循環器病研究センター研究所 分子薬理部 室長）

申込締切：令和7年11月1日（土）

参加費：500円

会場：長堀ルーム（右図参照）

申込は佐保会大阪支部 HP よりお願いします

